

その1

女子大生と画家

きく人

向井修一

△画家▽



★おしゃれ
正田 全体のバランスよりも、やっぱり色だわ。
今泉 ここ二年位にだんだん派手な色を着るようになつたの。

深津 最近好みが幼稚になっていくみたい。何か漫画に出てくるような服ばっかり着るようになつたわ。

★ショッピング
正田 まずお友達と一緒に。それからスボンサー（親）と一緒に。元町の方がシャレてるみたい。

深津 気に入ったらその場で買うわ。飽きたら友達にあげてしまう。

★ツイギー

今泉 現実ばなれしているのがいいのかしら。

★脚

正田 細い足の方の悩みはわかりません。

★ボーイフレンド

正田 恋人もボーイフレンドもいません。だけどフレンドボーリー（男性を意識しないで対等に喋れる人）というのはいっぱいいます。

今泉 いる。フレンドボーリーは女子大ですからいいけど、ボーイフレンドはいっぱいいるわ。

深津 いない。でも恋人はいるわ。

★好きな俳優

正田 アンソニー・バークインス。観るだけならアラン・ドロン。

今泉 私はグレゴリー・ベック。

深津 私もグレゴリー・ベックのような目のきれいなやさしさそうな感じの人。

★色

正田 みんな好きよ。

今泉 最近赤い色がだんだん好きになつたわ。
深津 わたし、真赤よ。

リラックスインタビュー

深津美保子さん（21才）

甲南大学2年



今泉 淳子さん（21才）

神戸女学院大学3年



正田喜美子さん（20才）

関西学院大学2年



★理想の男性

正田 抱擁力。細かいことをいちいち私に相談するような人はイヤ。どんどん引っ張つていてくれるような人がいいわ。

今泉 抱擁力がある、私がいくらわめいてもその人のところから逃げられないような、精神的に大きなか支えになってくれるような人。

深津 経済的に安定していて、ケンカ友達みたいで、抱擁力のある人。年令の差は関係なし。

★サラリーマン

正田 サラリーマン的な人はイヤ。

今泉 私もそうだけど、仕事に信念を持っていてイヤ味つたらしくない男性。

深津 私達とは別の世界の人。

★年令

正田 気にするし、年をとったら損するみたい。

今泉 気がついたらはたちになっていた。

深津 気にする、氣にする。

★スポーツ

正田 バスケットボール。

今泉 ゴルフ。

深津 私はしないわ。

★お酒

正田 雰囲気はすごく好き。

今泉 好きなんんですけどビール・アレルギーなんです。

深津 何でも飲めついわしたら飲むわ。

★大切にしている物

正田 日記

今泉 自分で作ったぬいぐるみ。

深津 想い出のあるレコード。

★ハブニンケ

正田 絵の具をぶつけ合つたりして一人でイキがってい

るという感じ。

今泉 変なことをしてショーファーつてるんじゃない？

★画家のイメージ

正田 時間に不規則で好きな仕事をしてすごく幸せな方

今泉 友達にあんた氣を付けなさいよといわれる感じ。

★神戸肉の鉄板グリル★

新年会、グラス会、ご宴会

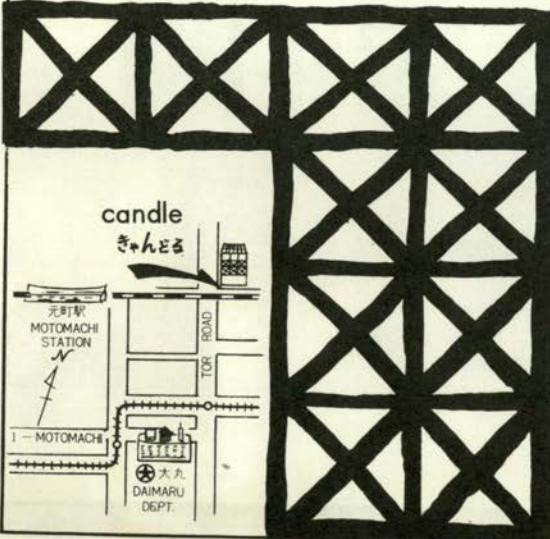
5人様～50人様

バター焼定食 鉄板焼 ¥ 650ヨリ

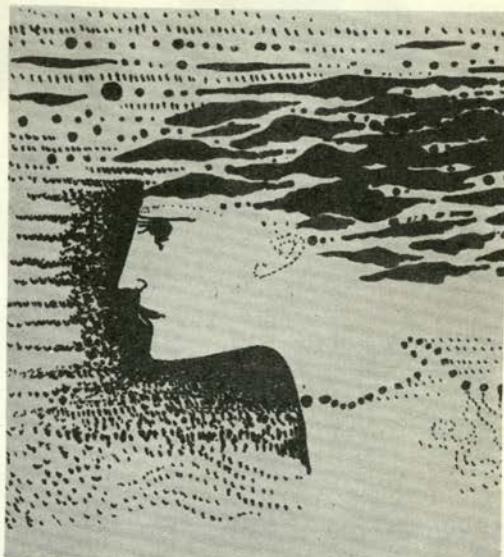
サービス期間中生ビール中ジョッキ一杯付

きゃんどる

GRILL TEL (33) 1183



1968
A Happy New Year



CLUB

蕗

清水 よし子

生田区下山手通2丁目 TEL 39-1515

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 謹賀新年 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆



写真は、昭和42年11月8日にスカイサントリー9階で開かれた
『42年度阪神タイガース選手激励会およびファンの集いの会』



飲みほうだい（サントリー純生ビール）+食べほうだい！〈北欧風ヴァイキング料理〉1,200円〈飲食税120円別〉



なごやかな
ムード
すばらしい
眺望！

ビヤレストラン
スカイサントリー

三宮交通センタービル9階 TEL 03-3705-6



OCB 加盟店

年中無休

坂上 太佳子

神戸市生田区中山手通1丁目110
PHONE <33> 5543・7831

こんにちはノブ*です
ことしもかわいがってね



"MY PACE IN PLAIN WAY"

〈ノブ*クラブ〉は、洋酒とお食事のクラブです

営業時間PM5:00～AM2:00

 **Nobu*Club**

ノブ*クラブ(三輪ノブ映)＝ノブ興業株式会社チェーン
神戸市生田区北長狭通り1丁目41 生田新道

〈メリービル3F〉 TEL <39> 2173
姉妹店 お茶漬の店"宮城"同様可愛がって下さいませ

神戸百店会だより

★ムラタ真珠本社へ
サンシェゴ親善使節団
来社

リカのサンシェゴへ真珠の
PRをかねて日本村を三年前
前に設け、海女の実演や邦
舞ショーや茶席などを開いて
日本文化の紹介を続けて
避暑地の人気を集めている。



村田本社のガーデンパーティ

出迎える手前は村田はまえ社長



出迎える手前は村田はまえ社長 向戸

の港のそれが生の日本廢闇で開かれ、神戸市からは、有岡田、田中寛次、菊池経済局長、また、安倍オリエンタルホテル社長、佐谷商議所事務理事、土井神戸市婦人協議会長など百名にミス神戸のお嬢さんたちが花をそえて親善パーティーがなごやかに開かれた。余興にサンジエゴの邦舞ショードで人気ものだった花柳芳恵一子さん、村田真理子さんの民踊と花隈ゲーリーガールズの美しい民踊に盛んな拍手が送

一田中一光（東京在住）氏のデザイン作品、また労音のボスター、産経能のボスターなど、氏のシャープな作品を展示して話題を呼んだ。田中一光氏の作品は12月末まで展示され新年からはまた、ユニークな作品展示で神戸っ子の眼を楽しませるそうだ。



田中一光氏の作品が飾られた店内

★真珠・毛皮・舶来婦人衣服の店
「ムラタ」では毎日六日・七日
の両日、大阪ロイヤルホテル二階
楓の間を会場に、真珠・毛皮・舶
来婦人衣服雑貨の特別展示会を開
催しました。同時にミニの女王マ

★風月堂さんちか茶寮で津高和一、田中一光氏のユニークな作品展示 ラジオ関西サテライトストアジオ前にある、風月堂の皆さんちか茶寮は、和風喫茶で人気を呼んでいます。壁面を利用して風月堂独自の企画で、9月1日オーブンから2ヶ月は津高和一氏の作品を展示。また引きつづいて11月1日からは、神戸労音のボスターなどで神戸たっぷり楽しんだ。

★「田崎真珠」では、十一月二十日・二十五日の二日間、オリエンタルホテル二階蘭の間・竹の間に恒例の「新作展示」と即売会を「メリマ」・「重富創作美術」とともに開催しました。恒例の「オール割引きお買得品コーナー」も設けられ大盛況でした。セントラルが新しく七階建てのビルになって十二月二日開店しました。一階から五階までがお店ですが、一階・三階はテーブルの部屋、二階・四階はお座敷で、五階は外人向けの部屋になっています。皆さま一度お出かけ下さい。

★十二月二十一日の午後、三宮ビル二階においてクリスマスマスパーティーが催されました。この日は、「みよしや」「元町バザー」「ヨシオカ」「スキヤ」「渡辺タジマ」「オカダ」「エヌスター」ユートーン・「シラサ」の各店が集り、連日「この日こそ」と押し

ショップ・トピックス

★セントラーハウスのアーチ
★セントラーハウスのアーチ
十一月二十九日、『サントアビル』が
一階に新築開店しました。店内
の照明は七五〇ワットクラスで明るく、
お子連れは迷わず入りお買物を
していくだけでもう広く楽しいお
店です。オープン台やハンカーチーも
多くなり、よりお求めやすくなつ
てします。ぜひどうぞ。
★『本高砂屋』は十一月十五日
阪急三宮駅西口に和風茶寮「杉」
を開店しました。和菓子、お茶、
おしるこ、おぜんざいなど純日本
風のものをおいしやれだ、一風
変ったお店です。おしゃべりに、
待ち合わせにご利用下さい。

ら外務省で働くと同時に労働大学の英語の教師もする
という。

約十カ月の休暇が終つて
も、再び Cao 領事が日本

だけに、エスペラント語の生徒や多勢の関係者達は船内で領事と別れを惜しみ、十七日午後四時出航のルイルス号で帰途に着いた領事を見送った。★メキシコ暮しの中西画伯毎日TVにて放映される。

メキシコでの中西画伯(テレビより)

この標識は神戸市土木局道路部補修課が建てるもので高さ二・五〇㍍。道路標識はうすグリーン、著名地点名称標識は色で日本字と英字で書かれたハイカラ神戸にふさわしいいやれたもの。全国的にはすでに建てられている同じものだが神戸でははじめて。

街路名称標識はトア・ロード、フランコード、京町通、大開通、神若通、花隈通など二〇本、著名地点案内標識は相楽園、大竜寺等高山植物園など十本だけだが、同課の話では、いい名前があればどんどんつくりたいと話している。

さきごろから生田区三宮近辺の町角に、新しい道路標識・著名地点の名称案内標識見えました

★町角に新しい案内標識が
お見え

きはじめたのは高校の時から。作品はもう五、六十点になっている。

★異人館の作品展開かる
神戸に点在する異人館を題材にした絵の個展が、一月十六日から二十一日の間、さんちかタウンの三菱ギャラリー開かれた。描いた人は神戸市立宮本小学校の図工科の教諭、徳永草摩さん（28才）で展示された作品は、デッサン十六点、油絵二点。徳永さんは純粋の神戸っ子で、異人館を描

★異人館の作品展開かる
神戸に点在する異人館

★エライフ・メモ

日本には、お正月に「おシメ」を車につける習慣がある。その一年間に無事をいのつて、フロントタグリルに「シメナワ」を飾る。ある。お正月の交通事故も、案外多いが、「おシメ」をつけた車は殆んど事故をやつてない。また、違反の警戒度がほんと多い。交通警察庁では、その車は殆ど有効であるのに、つけてない車も相当ある。日本に住んでいたりする日本人は、お正月にこの「おシメ」をつけるのを楽しみにしている。しかも、その理由を知つて、たいそう感心している。大人さえ、「一年間の平安をねがう」と日本の人々は、つづける「おシメ」を日本マイカ一族は、全員がつけて、この一年間の事故をうんとへらしてほし。神様も仏様も、団地の住宅にある。神様も仏様も、団地の住宅にある。こんな家の人はほど事故を起こしやすいようである。

の目が感じられたが、徳永さんは一学生時代を過ごした金沢が、古いものの大目にしようとする余裕があるのに比べると、神戸は人為的にそれらを壊しているようだ」とちょっぴり残念そうに語っていた。

★東急百貨店本店が誕生

神戸のお店も六店進出

東急百貨店本店が東京・渋谷に完成し、十一月一日より営業を開始した。これ

は延面積四二、五八〇平方メートル、地上八階、地下三階塔屋三階という規模の近代的で渋谷駅前にあった本店様式の百貨店である。今まで渋谷駅前にあった本店は、東横店と改称。新しい本店は、渋谷駅の“忠犬ハチ公”的像のところから、一〇〇年前の通りに、そのモダーンな姿を見せていい。



神戸文化のビジョン

文化不毛の地、神戸といふ言葉がある。この言葉をめぐつていろいろな論議がわいた。文化人も相集つて、神戸の文化を進める会などもたれたる、兵庫県の美術館建設

についても文化運動が展開され、その稔りもあつた。——文化不毛という言葉はもうそろそろ返上してよさそうである。文化不毛ということは文化施設が少ないということに繋がっている。

神戸市の文化度は全国的にみて非常に高度であつて、さすがに国際都市らしい世界的スケールを誇っている。だから文化遊離してしまうこと忘れんで悩まされる。

神戸の都市文化のビジョン

シャツ、うね、元町バザーヨンオカ、ちんがら屋、セリザワなどが進出し、日本中から集まつた流店ばかりの中でも、神戸っ子のハイセンスを競つてゐる。



東急本店の6階メンズストリート

店内の設備やレイアウトもすばらしく、明かるく、広々とした店内はゆったりと落着いてショッピングを楽しめるようになつていい。神戸のお店では、神戸

★神戸市成人お祝いの会に大阪フィルのコンサート

神戸市と神戸教育委員会

では、あすの“大神戸”の支える源動力「新成人」のお祝いの会を、一九六八年一月十五日の成人の日に開催する。

当日は、午前八時開場、九時開演で、場所は市立中央体育館。参加申込みは、昭和二十三年中に出生の神戸市民に限られる。申込方法は、往復ハガキに住所、氏名(復片にも必ず住所、氏名を明記のこと)のうえ、

神戸市教育委員会教育課(生田区加納町六ノ七)あて申込みのこと。折返し入場整理券が送られます。ただし締切りは一月八日(当日消印有効)で先着五千名に限り招待される。

★KOBEムービーコーナー「危険な旅路」

かつては、カリビアの楽園とし

て栄えたハイチも、共和国とは名ばかりで、終身大統領デュバリエの独裁のもと、彼の秘密警察が暴威をほしままにして、今は訪れる人もない恐怖の地へ化していた。

このよきな物騒然たるハイチを背景に、偶然めぐり会つた一群の男女がおりなす、夢と、怒りと暴力と、決断の多い多彩なドラマであり、また、互いに求め合いながら結ばれ得ない、悲痛な不倫の恋の物語。

監督が「ベケット」などのビターラ・グレンビル。



主演は、「予期せぬ出来事」

主演は、「予期せぬ出来事」(パジニア・ウルフなんかこわくな」「ジャジャ馬ならし」など、よい上演がのつて来たエリザベス・ティラー、リチャード・バートンの他アレックギネス、ピーター・ユースティノフ、ボール・フォード、リリアン・ギッシュ、グローリア・フォスターはじめ、ニューヨークの黒人舞台俳優たちが好演している。

△MG M映画配給・二時間三十
三分▽十二月三十日より新聞会館
大劇場にてロードショー公開

美容と健康にプラスします

このおいしさが

新しい“味”

腕をふるつた

リンゴ酢と蜂蜜で

神戸三宮生田ノ社ノ西
鮓の又 幸

電話・三の宮 (33) 0935

新しい年に
新しい人生
温かい
お座敷で
新年宴会を
当赤坂で
元旦...!!
料亭
赤坂
黒崎好子

(御一報直に参上致します。)
神戸中山手四 TEL 227836・7846

足立 卷一 え・津高和一

ばくたちは「悪童」ではなかつた。
しかし「善童」でもなかつた。

非 物 語 童

4

ドンパン パチパチ

ドーンと鳴って地べたを蹴り

ドンパンだ。

かぎりないおしゃべりをするのは

バチバチだ。

そいつを聞きとめているのは

ぼくひとりだ。

鳥だつてまだ知りはしない。

(昭和三十八年『ドンパン パチパチ』から)

ぼくの正月の記憶は、神戸から始まっている。

神戸に漂着したのは、大正十一年、満九歳のときである。ふしぎなことに、それまでの正月の記憶はまったくない。

小学校の一年までは東京にいた。その翌年は長崎に住んだ。だから、東京と長崎の正月の記憶が残っていないけれどならないはずだが、それがない。かすかな影のようなものさえないのである。

神戸に移ったのは、四月の第一学期はじめだったから、



正月の記憶はその翌年、大正十二年が最初ということになる。関東大震災の翌年にあたる。

ぼくを引き取って養ってくれた伯父の家は、生田神社の東門筋、下山手通一丁目十九の八にあった。市電中山手一丁目の停留所の浜側には三角形状の理髪店があり、ぼくたちは「三角帳場」とよびならわしていた。その前のゆるやかな坂をくだると、すぐ東側には市場へはいる露路があり、それを通りすぎてくだると、古川書店、都賀写真館などがある。やがて、西側には生田神社の東門があらわれて、森がぐるぐるとした緑を天へひらいている。東門を数軒くだった西側のとらや薬局が、伯父の店であり、住まいであった。左どなりは神戸屋パン店で、そのあいだ穴門になり、くぐると市場がたてこんでいて、夕方になるとどの店からも「買ひなはれ、どうや」という呼び声のリフレーンがあふれる。

そのあたりは、いまはキャバレーやバーばかりになつてゐるが、そこにはそんなものは一軒もなかつたし、道さえもアスファルトではなく、馬力とよぶ馬車が馬フンを残しながら通っていた。

伯父の店には大きなトラの看板がかかり、それが二階の窓をすっかりふさいでいた。その二階で、ぼくは母がたの祖母と母の独身の姉と寝る。そこにも薬品や脱脂綿が積みあげてあり、いつも薬のにおいをただよわせていた。オキシフル・ヨードチンキ・ショウノウ・漢方薬がりはじつた、奇妙な、しみつくようなにおいであった。

大みそか、寝るのはたいてい午前一時になつた。店をしめてから集金の勘定、店の掃除をし、売り台から薬局、台所までお鏡をかざり、自転車にもしめかざりをする。それから、伯母たちは雑煮の準備、正月料理にかかるのだった。

子どもは早く寝かせてもらったが、眠つたかと思うと、ドンパンとバチバチの音でからならず目がさめた。それはトラの看板のしたの表通りからおこる。爆発する。

ドンパンもバチバチも爆竹の一種である。どちらも紅色か真黄の紙の筒だ。ドンパンは大きなローソクのよう

な形をしている。それを地面に立てて、シンにあたるところに火をつけると、ドーンという音といつしょに空めがけてかけあがり、バーンとはじける。そうなるように火薬がつめてあるのだろう。このドンパンには、大小いろいろあって、太いのはサイダーびんほどもある。もつとも、そんなのは値も高く、とても子どもには手が出ず、近所の薪前のいいにいちゃんたちが打ちあげて見せてくれるのがつねだ。

バチバチもドンパンとおなじロウソク形をしているけれど、うんと小さい。火をつけて投げるとパチッ！とはじけるだけである。しかしドンパンよりも音はするどい。

バチバチは紙のシンをたばねて一包みになつていて。ぼくたちはそれをひとつずつほどいては、ひとつずつ鳴らすが、にいぢんたちはたばのままに火をつける。すると、一包みがつきつきにはじける。オモチャの軽機関銃の音に似て、鳴りつづける。

そのドンパンとバチバチが表通りで鳴る。ぼくは目をさます。しかし、窓のそとはまづくらだ。寝床のなかでじーっと、爆竹の音を聞く。すると、なぜかワクワクしてくる。表通りにとびだしたくてたまらない。それを石のように辛抱している。そんなに早く起きだしたら、伯父や伯母に叱られるにきまつていたから。

もう、眠ることはできない。ドンパンとバチバチの音はあちこちで鳴りはじめ、その数はどんどんふえる。それでも、いっせいに鳴りやむときがある。すると、経験したことのない淵のような深い静かさがひろがる。

ぼくが爆竹を知ったのは、なにも神戸がはじめてではない。長崎で、とくにその音は知っていた。しかし、長崎ではお盆の夜に鳴らした。家族はみんな墓所に集まり、たんねんに掃除し、ちょうどちんを飾つて灯をいれ、重箱につめたごちそうをひらく。それから、子どもたち

は夜おそらくまで爆竹を鳴らして墓所で遊ぶのである。

ところが、正月には爆竹を鳴らした記憶がない。雑煮をたべた思い出もない。それというのも、東京と長崎でのぼくの生活は流浪のようなものだったからだと思う。それで、神戸の母方の実家に引き取られたときは「漂着」という気分に近かった。

ドンパンが鳴ってからの時間は、おそらく長いものであった。窓はなかなか、あかるくならない。やがて、生田さんの森のほうで鳥の声がはじまる。窓にはうすあかりがにじみ、急速にひろがっていく。しかし、伯母も祖母も寝入ったまま、なかなか起きてくれそうにもない。ぼくは寝床のなかで、ひとりいらだつた。



やつと、みんながおきる。あたらしいパンツとシャツとタビをもらつて、からだにつける。それから、雑煮になる。ダイコン、ニンジン、ゴボウ、サトイモをカツオブシのだしでよく煮たすまし汁に、別にゆがいたモチをいれ、そのうえにサケか塩ブリのちいさな切り身と、別に煮つけたミズナをのせる。母方の実家は瀬戸内海の生口島の出身で、その雑煮は島の習俗らしかつた。

おわんにモチを二つ入れる。年の数だけ、モチを食べないと弱ミソといわれた。正月にはいくらモチを食べてもよく、食べたモチの数の多いほど「マメ」であり、「えらいやつ」ということになっていた。それで、ぼくもずいぶんムリをして、年の数だけ平らげるよう努力した。

おかげで食べ終わると身動きができず、やつとの思いで学校の拝賀式に出かけるのだが、昼食も夕食もいっさいスキであった。

ところが、伯母たちもお手あげになつたことがある。イワオという少年店員がいた。背がすんぐり低くて、色が黒い。かれはモチが大好物で、毎年二十個を軽く平らげた。そして、「おくさん、もうありまへんか」という。

それで、その年の正月には、伯母はかれのために三十個のモチを用意した。これなら堪能するだろと思つたらしい。ところが、イワオはあつという間に三十個を腹におさめ「おくさん、もうおまへんか……」といった。「イワオにはかなわん」

伯母がそののち、伯父にボヤいていのをぼくはふと聞いてしまつたのだ。

「イワオは汁も吸わんし、グも食べよらん。モチばっかり食うんや、そやから三十も食べれるんや」

伯母はそうもいっていた。

イワオはモチのつぎに歌が好きであった。なるほど、いい声をしていて店をしまうときは表通りでしばらく大声で歌う。『甘粕大尉の唄』というのが得意であった。演歌師からおぼえたものらしい。そのころは、生田神社の東門には演歌師が立つて、和服、ハカマ姿でバイオリンを引きながら押しつぶした声で歌つていた。歌い終わると楽譜を売る。そして消える。

イワオはよく店をぬけだしては、演歌師を聞きにいった。楽譜もかなり買つていた。そんなふうだったから、ぼくが音痴で唱歌の点がわるいと知ると、店番をしながら毎晩教えてくれた。手拍手をとり、イワオにつけてひとふしずつ歌う。

いーまは やまなか

いまははま……

そんな唱歌だった。すると、ふしげにそのときの唱歌の試験ではうまくたえた。それをイワオにいふと、ま

つ黒い顔に目じりをさげ、「そうでっしゃろ、そうでしやろ」ひとり合点をくりかえした。

小学校の拝賀式から帰つくると、そのイワオがかならずドンパンのでつかいのを打ちあげてくれる。給金をはたいて、特大を買うちしかつた。そして、ぼくやいとこや近所の子を円陣に集め、そのまんなかで火をつける。

「よう見とれよ、よう見とれよ」

イワオはなんどもそういう、円陣の子どもたちの顔をひとりひとりなめますようにして眺め、ゆっくり線香で火をつけた。

バーンと頭上ではじけたとき、イワオはニヤリとひとり笑いをする。それから、口をつむぐが、そのときはもう怒つているようにふきげんになつていて。

水雷艇としいう爆竹が売りだされたことがある。そのときもイワオはまつさきに買い、子どもたちをかき集めたり。ドンパンに長い竹がついているようなものだつた。火をつけると、空を火矢のようにとぶ。

そのときは元日の夜であつた。東門筋の店屋はみんな戸をしめ、いつもとちがつてまづくらであつた。

「よう見とれよ、よう見とれよ」

イワオは叫んだ。火をつけた。

水雷艇はショットといったかと思うと、流星のようものが夜空をとんで、すぐ消えた。そのときも、イワオはふきげんであつた。

ぼくが中学にはいるころ、イワオは店をやめた。日華事変が始まること以前、イワオは紙芝居のおっさんになつてゐるといふウワサを聞いた。なにかのはずみに、伯母がそう教えてくれたのである。

その日から、ぼくは紙芝居のおっさん気にをつけるようになつた。自転車のうしろに紙芝居をのせて走る人や、露路の人たかりを見ると、イワオではないかと胸がさわいだ。イワオなら、きっとうまい紙芝居屋になつてゐるのにちがいないと信じた。しかし、とうとう一度も会わなかつた。

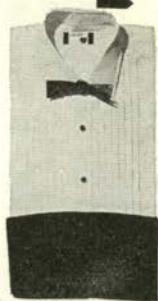
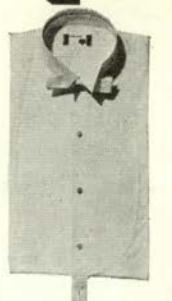


ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

三恵洋服店

元町4丁目 TEL ④ 7290

KOBE SHIRT



よろずゆ
襯衣縫上處
神戸シャツ

大丸前 TEL 33・2168



世界の品々は
サノヘでお選
びください。



元町2丁目
④4707~8



高級紳士服専門店
神戸テーラー¹
さんちかメンズタウン TEL ④0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL ④2817-3173

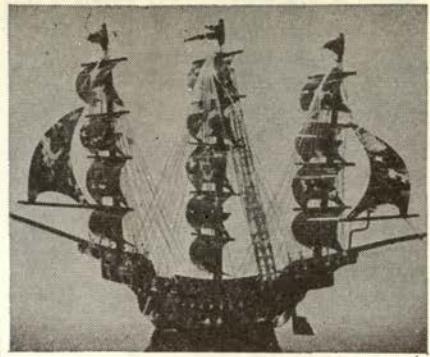


Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

オシャレ洋品の店

フナキヤ

元町3 TEL <33> 3617



センスあふれる
べっ甲専門店

太田籠甲店

元町1丁目 TEL ③ 6195



大上鞄店・いなみ

元町通1丁目 TEL 33・3962
さんちかメンズタウン TEL 39・4627



あらゆる体型に
フィットする
お詫えシャツ

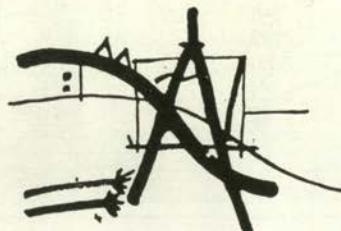


紳士洋品の店

千秘庵

元町4 TEL ④ 6959

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
④31309・6234

創作ハンドバッグ
工芸品 ORIGINAL

神戸 ■ 元町
ACCESSORIES

イクシマヤ

TEL. (33) 2415・2416

The
Cosmopolitan
Valentine F. Morozoff

コスモポリタン
チョコレート・キャンディー

神戸本社 神戸市生田区三宮町1丁目170 電話 33-5304
神戸直売店 神戸市生田区三宮町1丁目1217 電話 33-1217
大阪錦糸店 大阪市東区淡路町2丁目 電話 231-6979
大阪心斎橋店 大阪市南区安堂寺橋通4丁目 電話 251-4182
東京銀座店 東京都中央区銀座8丁目 電話 571-2303
東京新宿店 東京都新宿区角筈1丁目
新宿ステーションビル地下2階 電話 352-2436
東京有楽ビル店 東京都有楽町 有楽ビル 電話 213-2821
東京国際ビル店 東京都丸ノ内 国際ビル 電話 212-3746



ご贈答に風味豊かなカステーラ
長崎堂本店

本店=大橋町5 大五ビル (61) 0553-4
新開地店=松竹座前 (56) 2423
元町店=元町 6 (34) 4130
さんちかスイーツクウン (39) 3625

神戸っ子のみんなに愛される落ちついた喫茶店



ai

喫茶 愛

TEA ROOM

★神戸・元町本通元ビル2階 TEL (32) 0958

瞳に美しさを保つ

スポーツに

美容に

現代の科学が生んだ

コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市兵庫区御幸通八丁目九ノ一（三宮駅前）

神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570

高級きものとおひ
しみぬき・活け洗濯専門店



平野

つるや東店

兵庫区神田町125

(家庭裁判所前東1丁)

TEL 078 6932

あけまして
おめでとう
ございます

今年も
どうぞよろしく



おもちゃの
カ メ ヤ

元町 3 丁目 0090

元町 1 丁目 00 0768

三宮センター街 00 4969

さんちかタウン 00 4045



支店 本店 本店
TEL さんち さんち
⑨味の か味の 前・三宮
5 (毎週月曜日休み) 5 5 宮神社
2 6 7
3 7 7
3 街 4 2 東

お す し
て ん ぶ ら

榮 脩

営業時間
A.M. 11:30~P.M. 9

金露

色・味・香り
三つ揃った
灘の生一本
清酒
キンロ

■神戸市東灘区魚崎町魚崎356
金露酒造株式会社

洋酒の店

OK

小川深雪
阪急西口下る京町筋
TEL <39> 1413

新年
おめでとう
ござい

グラムール

生田筋・岸ビル地階 TEL 33-4673

